

幼児のパーソナリティと生活環境の 関連性についての研究（第一報）

箕浦 志保 （学が丘保育園）

研究目的

現在の社会情勢の下で幼児をとりまく生活様式の変化は著しい。新興住宅地の開発にともない、高層住宅の建設は、ますます増えつつある。特に幼児の特性である、発育、発達、養育環境等の条件が大きな要因となっている。都市を中心とする核家族化の傾向や、きょうだい数、遊び場所の減少等、次々と深刻な問題が指摘されている。その中で住宅環境や家族関係が、子どものパーソナリティにどのような影響を及ぼすかを調べ検討をする。

方法

調査対象：神戸市私立 K・M 保育園 2 か園の幼児
 222 名
 回収率：96%（実数 214 名）
 3 歳児（75 名） 4 歳児（75 名）
 5 歳児（64 名） 合計（214 名）
 調査期間：昭和 58 年 9 月に実施

調査方法：パーソナリティの評定はアイゼック・黒田性格検査を母親に配布し、記入を依頼する。
 生活調査に関する調査方法を母親に依頼する。

調査内容：

- (1) 家族関係と子どものパーソナリティの関連性
 - ・家族数
 - ・母親の内、外向性と子どもの内、外向性
 - ・遊び相手
- (2) 住宅環境と子どものパーソナリティの関連性
 - ・遊ぶ場所
 - ・住宅の上下階
 - ・一人あたりの空間（畳数）
- (3) どのような子どもに育てたいかということに関する母親の希望についての調査
 上記の内容について調査した。

表 1 家族関係と子どものパーソナリティの関係

		安			普通			不			内			普通			外														
		合計	平均上	平均下	期待上	期待下	上.安	上.普	上.不	下.安	下.普	下.不	× ²	イエーツ	合計	平均上	平均下	期待上	期待下	上.安	上.普	上.不	下.安	下.普	下.不	× ²	イエーツ				
3 歳児	合計	15	60	4	8	50	21	79	13	63	3	9	58	12																	
	平均上	6	23	1	3	19	8	30	5	22	3	3	23	4																	
	平均下	9	37	3	5	31	13	49	8	41	0	6	35	8																	
	期待上	56962	22784	15189	30379	18987	79746		49367	23924	11392	34177	22025	45569																	
	期待下	93037	37215	24810	49620	31012	13025		80632	39075	18607	55822	35974	74430																	
			上.安	上.普	上.不	下.安	下.普	下.不	× ²	イエーツ																					
	子安定	0.0162	0.0020	0.1773	0.0099	0.0012	0.1085	0.315283	0.02080																						
	子内向	0.0004	0.0000	0.0000	0.0002	0.0000	0.0000	0.000908	0.0005																						
	母安定	0.0008	0.1547	3.0392	0.0004	0.4947	18607	5150784	33995																						
	母内向	0.0510	0.0431	0.0680	0.0312	0.0264	0.0416	0.261603	0.1726																						
4 歳児	合計	19	48	4	7	49	15	71	12	48	11	5	57	9																	
	平均上	7	22	1	2	23	5	30	6	22	2	1	25	4																	
	平均下	12	26	3	5	26	10	41	6	26	9	4	32	5																	
	期待上	80281	20281	16901	29577	20704	63380		50704	20281	46478	211267	240845	380281																	
	期待下	10971	27718	23098	40422	28295	86619		69295	27718	63521	288732	329154	519718																	
			上.安	上.普	上.不	下.安	下.普	下.不	× ²	イエーツ																					
	子安定	0.1316	0.1455	0.2818	0.0963	0.1065	0.2062	0.968135	0.6389																						
	子内向	0.3101	0.2545	0.2824	0.2269	0.1862	0.2066	1.467042	0.9682																						
	母安定	0.1704	0.1455	1.5084	0.1246	0.1065	1.1037	3.159491	2.0852																						
	母内向	0.5860	0.0347	0.0102	0.4287	0.0254	0.0074	1.092764	0.7212																						
5 歳児	合計	9	39	4	9	32	11	52	13	34	5	7	34	11																	
	平均上	4	16	1	4	13	4	21	3	14	4	4	14	4																	
	平均下	5	23	3	5	19	7	31	10	20	1	3	20	7																	
	期待上	363461	1575	161538	363461	129230	444230		525	137307	201923	282692	137307	444230																	
	期待下	536538	2325	23846	53653	19076	65576		775	202692	298076	417307	202692	655769																	
			上.安	上.普	上.不	下.安	下.普	下.不	× ²	イエーツ																					
	子安定	0.03673	0.0039	0.2344	0.0248	0.0026	0.1588	0.461512	0.3045																						
	子内向	0.03673	0.0004	0.0440	0.0248	0.0003	0.0298	0.136255	0.0899																						
	母安定	0.96428	0.0052	1.9430	0.6532	0.0035	1.3162	4.885660	3.2245																						
	母内向	0.48678	0.0052	0.0440	0.3297	0.0035	0.0298	0.899273	0.5935																						

表2 降園後の子どもの生活

年齢	人数	テレビを見る		すぐ外に飛び出す		室内で遊ぶ		本を読む		その他		合計
		1階~4階	4階以上	1階~4階	4階以上	1階~4階	4階以上	1階~4階	4階以上	1階~4階	4階以上	
3歳児	75	13 (17.33%)	24 (32%)	11 (14.67%)	2 (2.67%)	25 (33.33%)	4 (5.33%)	2 (2.67%)	0	7 (9.33%)	0	88
4歳児	75	10 (13.33%)	2 (2.67%)	15 (20%)	5 (6.67%)	23 (30.67%)	2 (2.67%)	1 (1.33%)	1 (1.33%)	6 (8%)	0	65
5歳児	64	12 (18.75%)	2 (3.13%)	16 (25%)	5 (7.81%)	16 (25%)	3 (4.69%)	0	1 (1.56%)	6 (9.38%)	0	61
合計	214	35	28	42	12	64	9	3	2	19	0	214

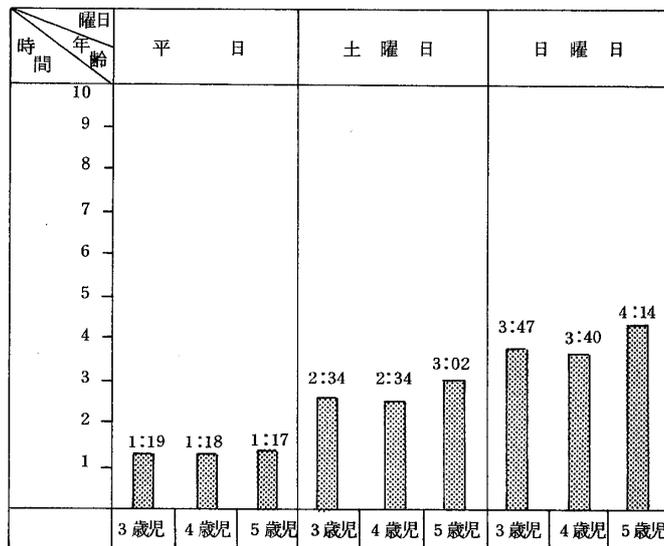


図2 降園後の子どもが戸外で遊ぶ時間

表3 子どもの遊ぶ場所

場所	階		計
	1~4	4以上	
公園・広場 空地で遊ぶ	136 (80.47%)	33 (19.53%)	169
自分の家の庭で遊ぶ	13 (100%)	0 (0%)	13
道路で遊ぶ	6 (75%)	2 (25%)	8
屋上で遊ぶ	1 (100%)	0 (0%)	1
その他	9 (100%)	0 (0%)	9
無記入	10 (71.43%)	4 (28.57%)	14
合計	175 (81.78%)	39 (18.22%)	214

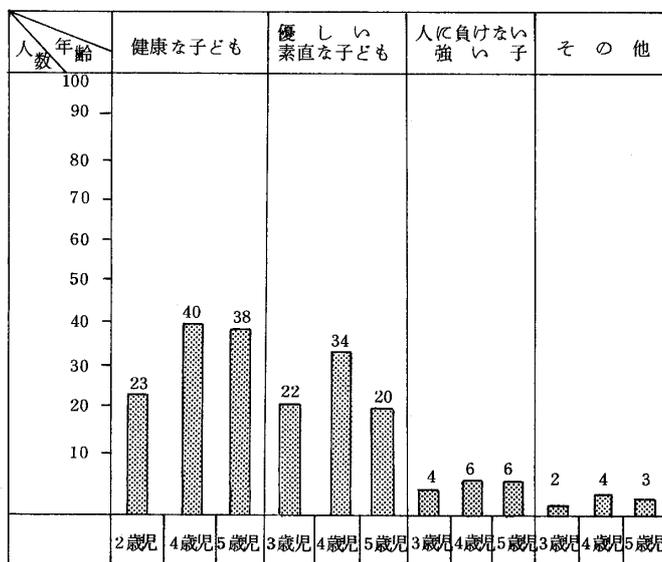


図3 どんな子どもに育てたいか、母親の希望

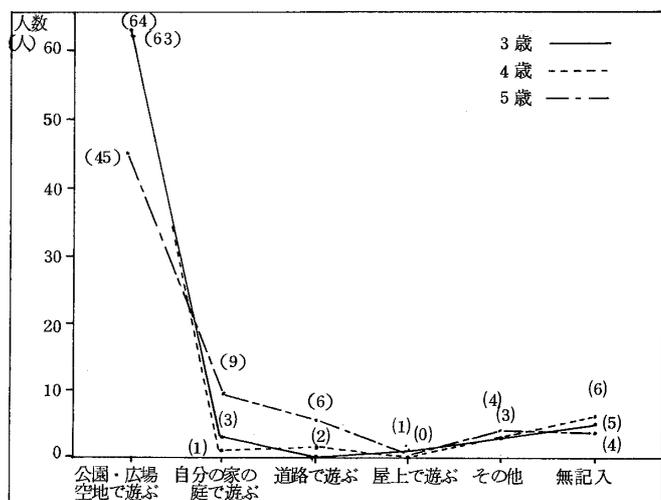


図1 年齢別に見た遊ぶ場所

調査結果

以上のことから、高層住宅に住む母と子の性格を見るため、1~4階と4階以上の2種に分類し、内・外向との性格検査を行なった。この調査結果を出すために子どもにかかわる家族数、部屋数を検討した。保育園から降園後の子どもの遊ぶ場所、生活等を階段別、年齢別に分類すると、5歳児の場合は室内、戸外共に同じであった。遊ぶ場所は階段別、年齢別に関係がなく、公園、広場等がほとんどであった。又、平・土曜日の子どもの遊ぶ時間を比較検討し、次に母親が願う子どもの姿は、健康な子どもが一番多く、つづいて優しい素直な子どもであった。以上の結果を今後の保育に生かしたいと考える。